

東京慈恵会医科大学医学部へ進学

苦手科目を集中的に勉強して克服 志望大学を絞った対策も有効でした

1対1の授業で苦手を克服
仲間にも助けられた

小学校高学年の頃、父が高知で整形外科を開業し、医師への憧れは小さい頃から何となくもつていました。現役時は症例が多く、設備も整っている関東の私立大を志望し、6校受験しましたが、全滅。予備校にメディカルラボを選んだのは、高3のときに高知で個別指導の予備校に通っており、個別指導が自分に合っていると感じていたことと、医学部受験に特化しているので、大学に合わせた受験対策ができるのではないかと考えたことです。また、教務の方や校舎の雰囲気よかったことも

理由の一つです。

授業は1対1で行われるので、自分の苦手な部分などでも把握してもらったうえで、的確な指導をしていただきました。特に、現役時代に苦手だった英語と化学を集中的に学び、克服。英語はとにかく新しい問題をどんどん解き、化学は全単元復習をしながら、よく間違える箇所や知らなかった知識をノートにまとめ、受験直前にも見直せるようにしました。

小テストなどは他の生徒と一緒に受ける機会もあったので、友達もでき、互いに教え合ったりもしました。一人暮らしだったので、教務の方やチューターの方にもよく相談

しましたね。授業以外の時間も校舎で勉強していたので、朝9時10分から夜9時30分まで、ほぼ毎日校舎にいました。

志望大学を絞った対策で
偏差値より上の大学も狙える

東京慈恵会医科大学を志望した理由は、のびのびとした校風に加え、教職員の方々がやさしそうな雰囲気だったことです。自分の偏差値より少し上のランクだったのですが、受験生に考えさせるような出題が多く、自分と相性がよいと感じていたので、合格する自信はありました。

また、面接試験は1回7分の面接を5カ所の教室で分けて行うMMIの形式だったの



ですが、こうした対策もメディカルラボでやっていたので合格への大きな力になりました。これから医学部を志す人は、行きたい大学を絞り、その出題傾向に合った準備をすることをすすめします。そうすれば、偏差値が高い大学でも逆転合格できると思いますから。

4月から大学に通い始めましたが、想像していたとおりの雰囲気で、楽しく学んでいます。1年次から実習系の授業が多く、医師を志すうえで、非常にためになっていると感じています。将来は、父のように地域の方に密着して、寄り添えるような医師になりたいです。

東京慈恵会医科大学医学部1年 中内 優太 さん (メディカルラボOB)



医系専門予備校

メディカル ラボ®

1対1の完全個別指導。
合格実績の理由は、



—指導経験豊富な講師陣が医学部入試のノウハウを伝授する—



医系専門予備校
合格者数
No.1^{※1}

※1. 2019年度「医学部予備校ナビ」調べ

2019年度入試 医学部医学科
合格実績 **1,004名**^{※2}

※2. 最終合格者数(2019年5月6日現在)



1対1個別授業 × 個別カリキュラム

冬期・直前対策
講習生募集中

— 資料請求・お問い合わせ —

<https://www.medical-labo.com/>

メディカルラボ 🔍



私立医学部模試

全国28会場

申込受付中

合格に最も近い大学が見つかる模試

10/6日 13日 20日 27日 11/3日

各会場で指定の
いずれか1日

お申込は
こちら

